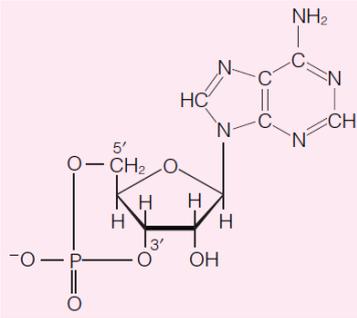


“ポイントがわかる分子生物学 第2版” 正誤表 (2020年9月10日現在)

- ・変更点を**太字**で示しております
- ・行数は見出しを含みません

ページ	修正箇所	誤	正
4	「1-2-1 遺伝物質としての核酸」 1行目	肺炎 双球菌 <i>Streptococcus pneumoniae</i>	肺炎 球菌 (肺炎連鎖球菌ともいう) <i>Streptococcus pneumoniae</i>
8	図 1.4.2	リボース 5- リン酸	リボース 1- リン酸
15	図 1.7.3	ウラシルの構造	正しい構造は、欄外「図 1.7.3」を参照
17	図 1.8.1 ①の文中	グリコシル 結合	N- グリコシド結合
22	「1-11-1 真核細胞の遺伝子構造」 7行目	タンパク質へと翻訳される 領域をエキソン	成熟型 mRNA に存在し、タンパク質への翻訳に関わる 領域をエキソン
23	図 1.11.2 キャプション	m RAN	m RNA
24	図 1.12.2 イントロンの分枝部位の配列	UACUAACA	UACUAAC (配列の最後の A を取る)
30	図 1.14.3 ②の図	GTP	GDP
31	図 1.15.1 右上の「細胞質」の文字の下	核孔	核 膜 孔
35	囲み記事 6行目	GFP を遺伝子 組み換え 技術で	GFP を遺伝子 組換え 技術で
37	表 1.17.1 <i>ceb203</i> の行, 構造/機能の列	シトクロム c の成熟因子	シトクロム c の成熟因子
63	図 2.5.2 cAMP のアデニン部分の構造		正しい構造は下記の通り。  cAMP
98	ノーベル化学賞の表 2009年の受賞者	Venkatraman Ramakrishnan, Thomas Steitz	Venkatraman Ramakrishnan, Thomas Steitz, Ada Yonath
102	図 3.2.1	2.961 bp	2,961 bp (2 と 9 の間は「.」ではなく「,」)
102	図 3.2.1 説明文 4行目	MSC	MCS
103	図 3.2.2	ilinear DNA	linear DNA

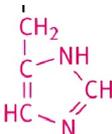
ページ	修正箇所	誤	正
106	図 3.4.2	<i>ura3</i>	URA3
107	図 3.4.3	PCR 産物と切断したベクターを同時に形質転換する	PCR 産物と切断したベクターを同時に 細胞内に導入 する
107	図 3.4.3 (図内各 4 箇所)	P_{nmt1} T_{nmt1}	P_{nmt1} T_{nmt1}
113	図 3.7.3	図の差し替え	正しい図は、欄外「図 3.7.3」を参照。
113	図 3.7.3 説明文 10~11 行目	終始コドン	終止コドン
135	「3-18-4 遺伝子型から副作用や薬効を予測する」 7 行目	シトクロム <i>P450 2C9</i>	シトクロム P450 2C9
138	付表 アルギニン	構造	正しい構造は下図の通り。 
138	付表 ヒスチジン	構造	正しい構造は下図の通り。 

図 1.7.3

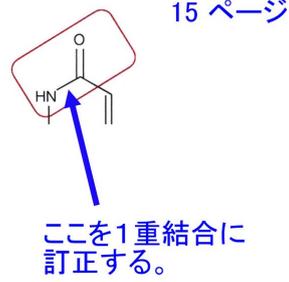
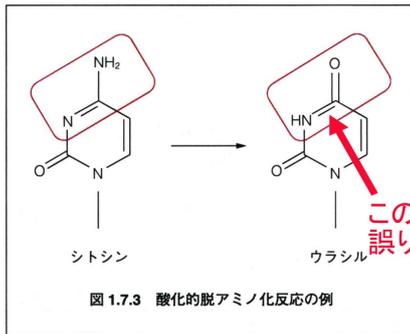


図 3.7.3

